

日本一周の旅

写真・文 村民広報委員 F 初投稿!



あいの沢キャンプ場に6月8日、電話があって、「これから飯館村に自転車で向かいますが、今晚泊られますか」と言う。午後3時頃で雨が強く降っていた。

現在、保原町を出発したところだと云う。待っていると途中で自転車が故障したと伝えて来た。軽トラックで迎えに行き、話を聞くと、「自分は茨城大学の2年生で、社会科の教師を目指している。1年間休学して千葉県を出発、来年3月を目処に埼玉、群馬、栃木、茨城、福島 of 全市を回る。明日から南相馬市、相馬市を回って北海道に向かい、南下して日本全国、全市を回るつもりだ」と話してくれた。

見ると、いかにも子供っぽい顔をして、やんちゃそうな姿形に見えた。けど、どことなく優しくも見え、たくましくも見えた。こういう人が将来の子ども達の人生を正しく導く人となってくれるのだらうと、力強く感じずにはいらなかった。

飯館村に立ち寄った事が「高沢侑二郎君」にとって良き思い出になる事を心から願い、信じています。

▼飯館村森林組合・佐藤長平組合長より



比叢のモリアオガエルです

モリアオガエル産卵のニュース続々



深谷のモリアオガエルです

ここ何日かの間に「モリアオガエル」の卵が飯館村の数か所で見つかった。沼のほとりに行ってみると、なるほど実に神秘的だ。萱草の根本や樹上に力強くたれさがついていた。昔は延命袋とも言われていたと聞く！我が飯館村にも本当の自然が残っていたのだと心から嬉しく感じた。

写真・文 村民広報委員 F



南相馬市同窓会の「会津の旅」

5月29・30日、南相馬市飯館同窓会の皆さんが、1泊2日の会津の旅へ。コロナ禍で、ようやく久しぶりに実現した旅行であり、この時を待ちかねた32人が親睦を深めました。江戸時代の宿場の面影を残す大内宿(下郷町)では皆で名物のねぎそばを味わい、鶴ヶ城や七日町(会津若松市)では城下町の散策を楽しみ、会員からは早くも次回を待ち望む声が上がっていました。

南相馬市飯館同窓会より

皆さんからの情報や投稿でつくるページです

今年度から村民広報委員を公募しご協力をいただいています。どなたでも投稿できるコーナーです。皆さんも身近な話題をどしどしお寄せください!

飯館村広報委員会(村づくり推進課企画定住係)

☎0244-42-1613

地域おこし協力隊
いいたてDIARY
ダイアリー

みなさんこんにちは! ろうそく作家の大槻美友です。地域おこし協力隊の活動も今年度で3年目を迎えました。2020年から移住して早2年。時が経つのは本当に早いですね。

活動が3年目ともなると、村内外での様々な繋がりを感ずることが多くなりました。

先日、村のイベントで知り合ったカフェオーナーさんのお店にお邪魔した時、店内のあちこちにキャンドルを飾ってくれていました。また、協力隊繋がりで大堀相馬焼で有名な松永窯さんのギャラリーにてキャンドルの展示販売をさせてもらえたり、村内の工房にたくさんの方が体験に来てくださったり...この土地に来てからできた繋がりが、どんどん広がっているのを実感しています。

村内にもレストランや新しい場所が続々と増えてきて、2年前から少しずつ変化している村の姿を暮らしながら感じられることにわくわくしています。



最近、村の人に種まきの方法を教えてもらいました!お、奥が深い...百聞は一見に如かずとはまさにこのこと...



今月のライター
飯館村地域おこし協力隊
大槻 美友 さん



おいしい飯館! までのいの食卓

生産者の皆さんにおいしい食べ方を聞いてみよう!



定番のおひたしや胡麻和えの他にも味わい方いろいろ



末永瑞夫さん・妙子さん(深谷)

飯館の気候でまでのいに育てたおいしさは特別!

ほ場を広げて、昨年からは東京の豊洲市場にも出しています。長くて細くて青くて皮もやわらかい飯館のインゲンは震災前「飯館ブルー」という名のブランド品で特別な人気を得ていました。当時の価格には戻っていませんが市場は忘れずにいてくれて「もっとつくってほしい」という声をもらいます。手をかけ丁寧につくっています。皆さんもぜひおいしく食べてくださいね。



お酒のおてにも

さっとゆで少量のめんつゆとファスナー付きのビニール袋へ。味がなじめばできあがり。



炒めるのもおいしい!

味付けは醤油でも味噌でも。ニンニクやショウガも合います。豚肉などと合わせてもインゲンだけで炒めてもOK。



天ぷらがおすすぬ!

筋を取り長さをそろえて数本ずつまとめ衣をつけ天ぷらに。生のインゲンを使います。